

RYOBI

2024年12月期 決算説明会

2025年2月14日
リョービ株式会社

- 1. 2024年12月期 決算実績 P.03**
- 2. 2025年12月期 業績予想 P.12**

1. 2024年12月期 決算実績

決算のポイント

➤ 2024年12月期 実績：増収・減益（前期比）

（ダイカスト）

- ・ 売上は国内・海外ともに増収 国内の一部自動車メーカーの認証不正問題や、中国での日米欧自動車メーカーの苦戦などがあつた一方で、円安で在外子会社の売上高の円換算額が増加したことなどにより増収
- ・ 営業利益は固定費等の増加により減益

（住建機器）

- ・ 売上は国内・海外ともに増収 営業利益は中国生産工場の子会社化に伴う一時的な費用や海外生産品の調達コスト上昇などにより減益

（印刷機器）

- ・ 売上はほぼ前年並み 営業利益は原材料価格高騰の影響などで減益

特別損益

（特別利益）政策保有株式一部売却29億円（特別損失）英国子会社における減損損失25億円

➤ 2025年12月期予想

- ・ ダイカスト事業で新規品の立上げが進むことを主要因に増収 過去最高の売上高を更新
- ・ 固定費増加、エネルギー価格の高止まりや原材料価格の高騰等の影響はあるが、増収効果で営業利益は増益

➤ 株主還元

- ・ 2024年12月期は中間42.5円、期末42.5円、年間85円（前期比+5円）
- ・ 2025年12月期は中間50円、期末50円、年間100円（前期比+15円）
（中期経営計画期間中（2025-2027年）の株主還元方針を別途設定）

実績サマリー

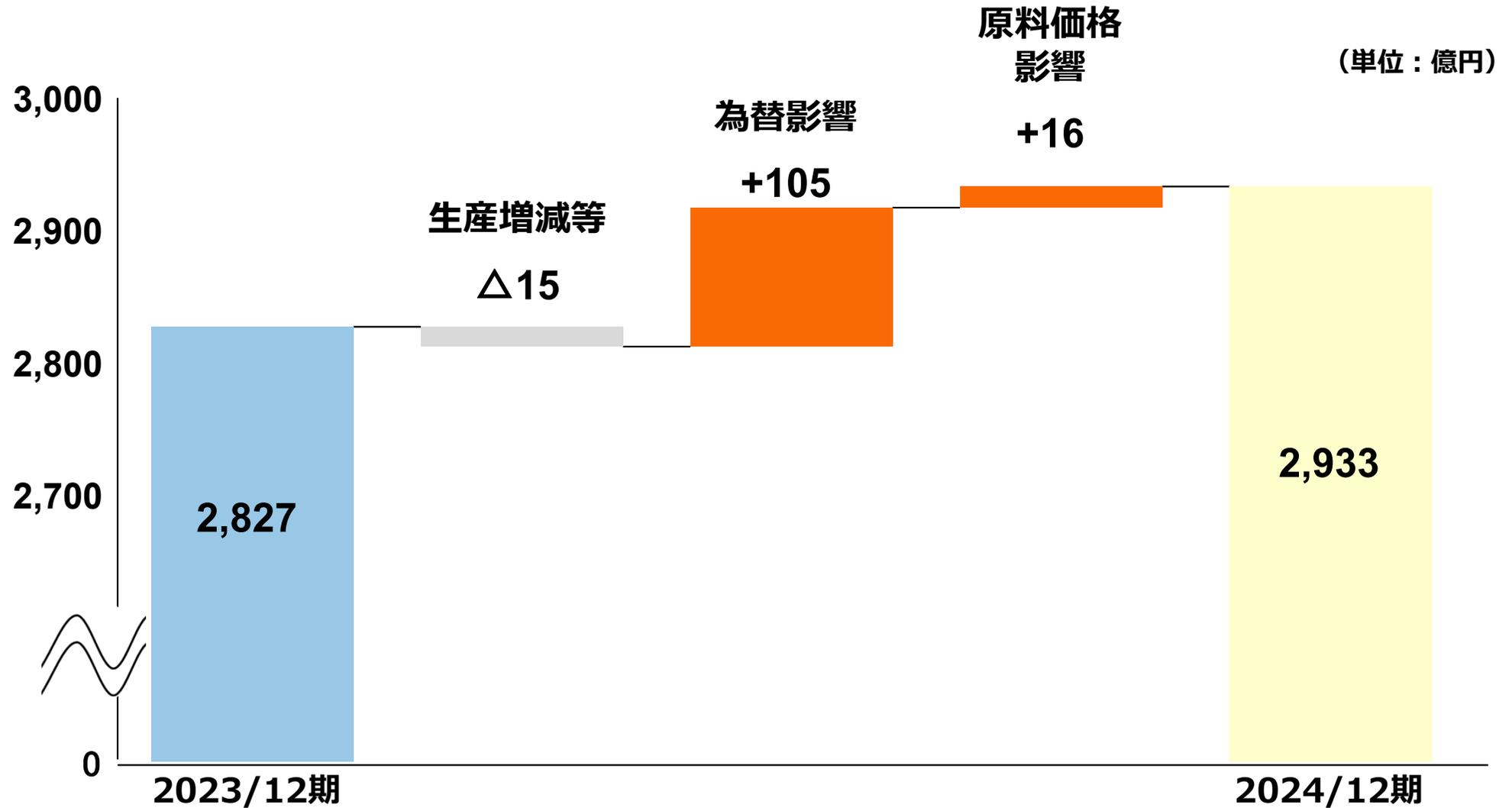
- 円安で在外子会社の円換算額が増加したことで増収、固定費や原材料価格高騰などで減益

(単位：億円)

	2023/12期	2024/12期			
	実績	実績	前期差 (前期比)	業績予想 (11/7)	業績予想差 (業績予想比)
売上高	2,827	2,933	106 (3.8%)	2,920	13 (0.4%)
営業利益	122	95	△27 (△22.3%)	85	10 (11.7%)
経常利益	139	116	△23 (△16.7%)	95	21 (21.6%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	101	69	△32 (△31.4%)	70	△1 (△0.9%)

売上高増減要因

- ・ 円安により在外子会社の円換算額が増加 生産量は前年比微減

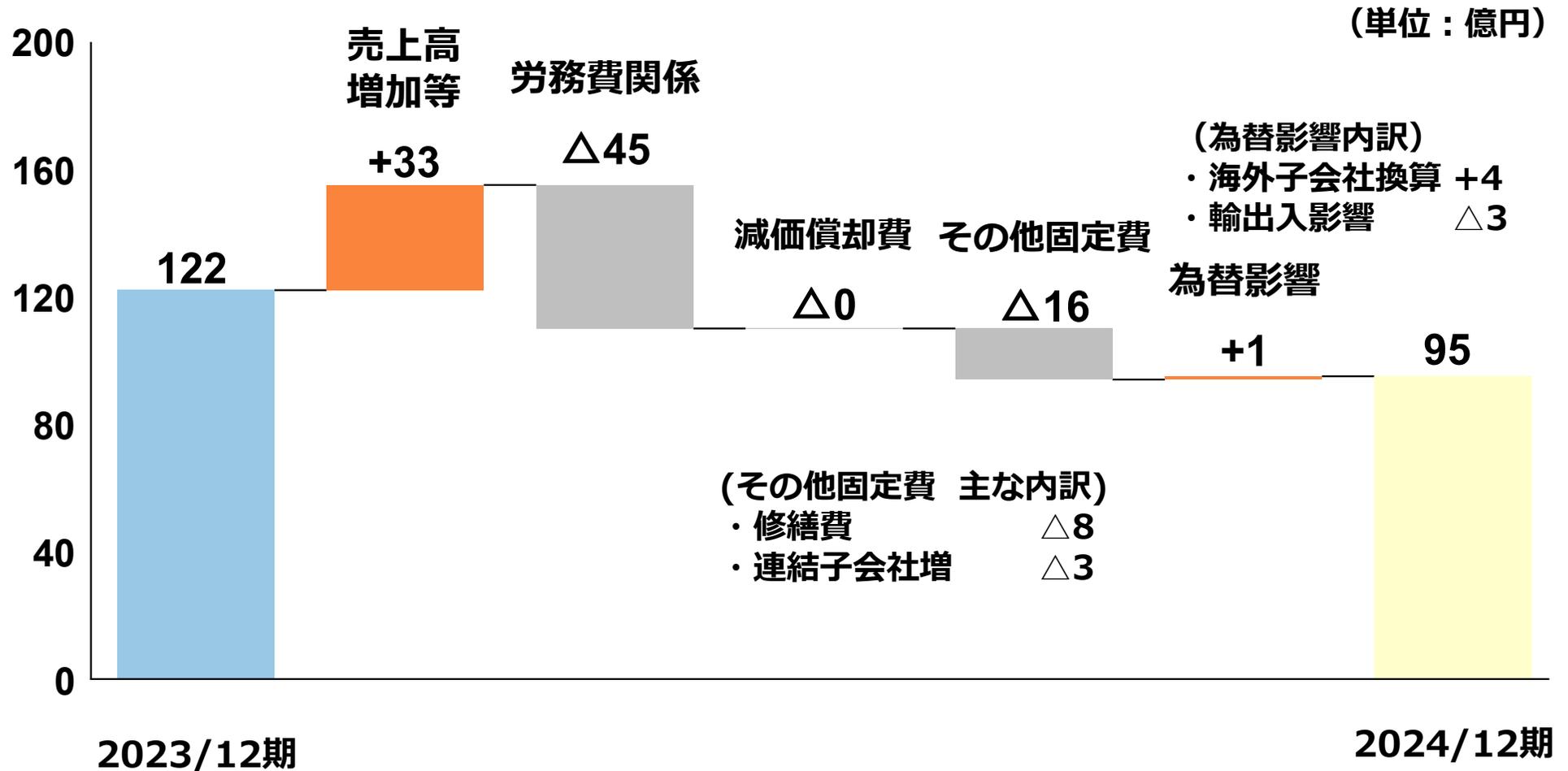


為替レート (期中平均)

	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
2023/12期	140.69円	174.49円	19.83円	4.03円
2024/12期	150.89円	192.90円	20.97円	4.28円

営業利益増減要因

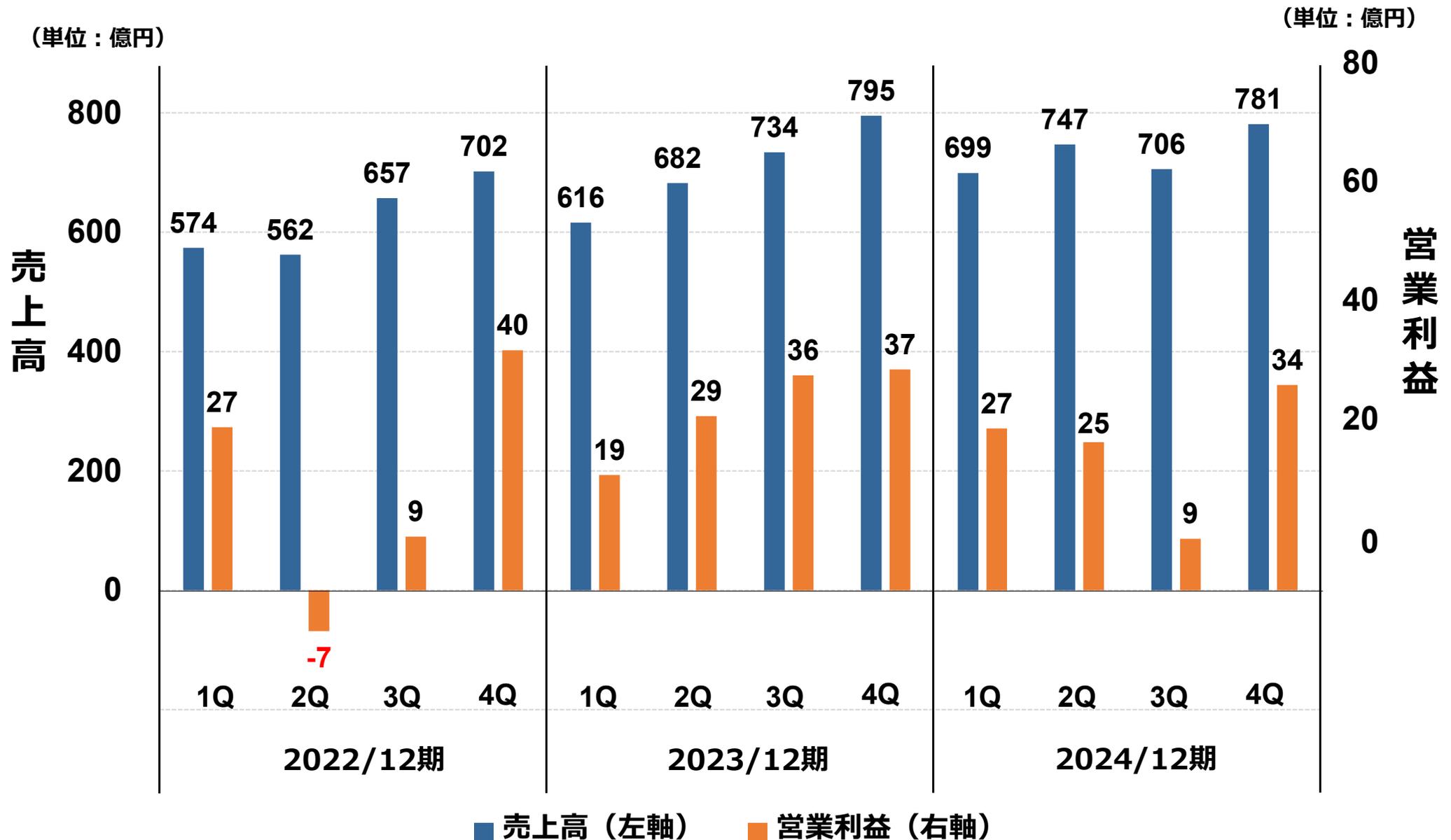
- ・ 日米欧での固定費の増加影響が大きく、前期比で減益
- ・ 売上高増加等にはエネルギーコスト回収等を含む



為替レート (期中平均)	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
2023/12期	140.69円	174.49円	19.83円	4.03円
2024/12期	150.89円	192.90円	20.97円	4.28円

売上高、営業利益の推移 連結

- ・ 当下半期は、中国での日米欧自動車メーカーの不振で売上高が前年同期比減収
- ・ 固定費の増加や原材料価格高騰などの影響で減益



セグメント別実績

- ダイカスト：円安の影響で増収、固定費の増加で減益
 住建機器：海外生産品の調達コスト上昇などにより減益
 印刷機器：原材料価格高騰の影響等により減益

(単位：億円)

	2023/12期	2024/12期			
	実績	実績	前年同期差 (前年同期比)	業績予想 (11/7)	業績予想差 (業績予想比)
売上高	2,827	2,933	106 (3.8%)	2,920	13 (0.4%)
ダイカスト	2,476	2,579	104 (4.2%)	2,565	14 (0.5%)
住建機器	108	110	2 (2.0%)	105	5 (5.1%)
印刷機器	241	241	0 (0.1%)	250	△9 (△3.5%)
営業利益	122	95	△27 (△22.3%)	85	10 (11.7%)
ダイカスト	109	90	△19 (△17.6%)	80	10 (12.4%)
住建機器	2	△4	△6 (-)	0	△4 (-)
印刷機器	11	9	△2 (△17.7%)	5	4 (86.8%)

貸借対照表

- ・ 総資産は前期比143億円増加 うち為替影響で144億円増加
- ・ 純資産増加163億円のうち、104億円は為替影響によるもの

(単位：億円)

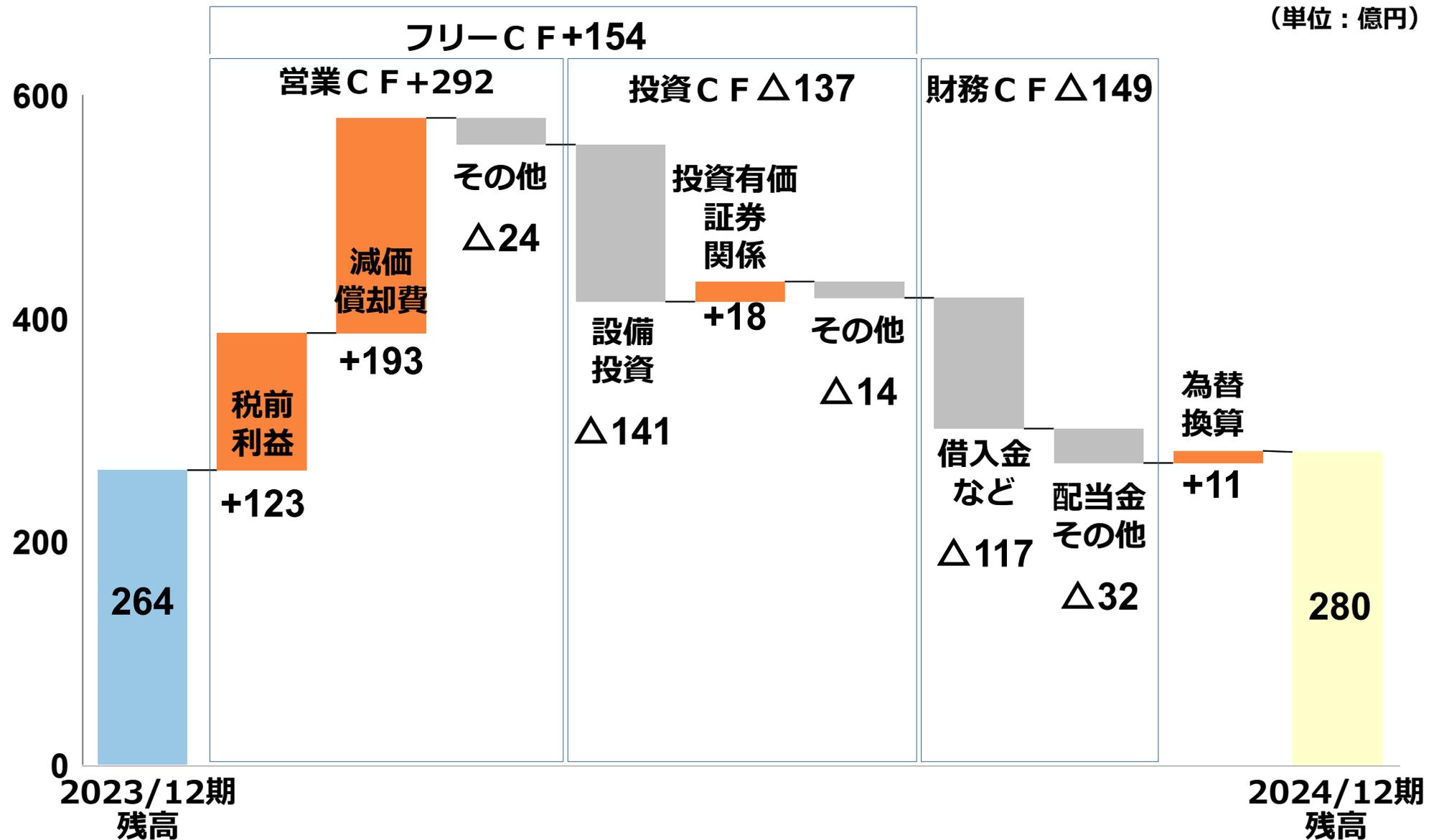
	2023/12期	2024/12期	増減	うち 為替影響		2023/12期	2024/12期	増減	うち 為替影響
流動資産	1,566	1,611	44	64	流動負債	1,179	1,150	△29	34
現預金	276	293	16	12	仕入債務	509	482	△27	12
売上債権	643	596	△47	24	短期借入金	462	407	△55	18
有価証券	7	7	0	-	その他	208	261	53	4
棚卸資産	599	668	69	27	固定負債	402	412	10	6
その他	41	48	7	1	長期借入金	240	213	△28	4
固定資産	1,622	1,721	99	81	その他	162	199	37	2
有形固定資産	1,234	1,290	55	69	株主資本	1,247	1,289	42	10
無形固定資産	26	32	5	1	その他の包括利益 累計額	266	384	118	94
投資その他の資産	361	400	39	10	非支配株主持分	94	96	2	-
繰延資産	-	-	-	-	純資産合計	1,607	1,770	163	104
資産合計	3,188	3,332	143	144	負債・純資産合計	3,188	3,332	143	144

為替レート（期末日）

	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
2023/12期	141.83円	180.68円	19.93円	4.13円
2024/12期	158.18円	199.02円	21.67円	4.64円

キャッシュフロー増減

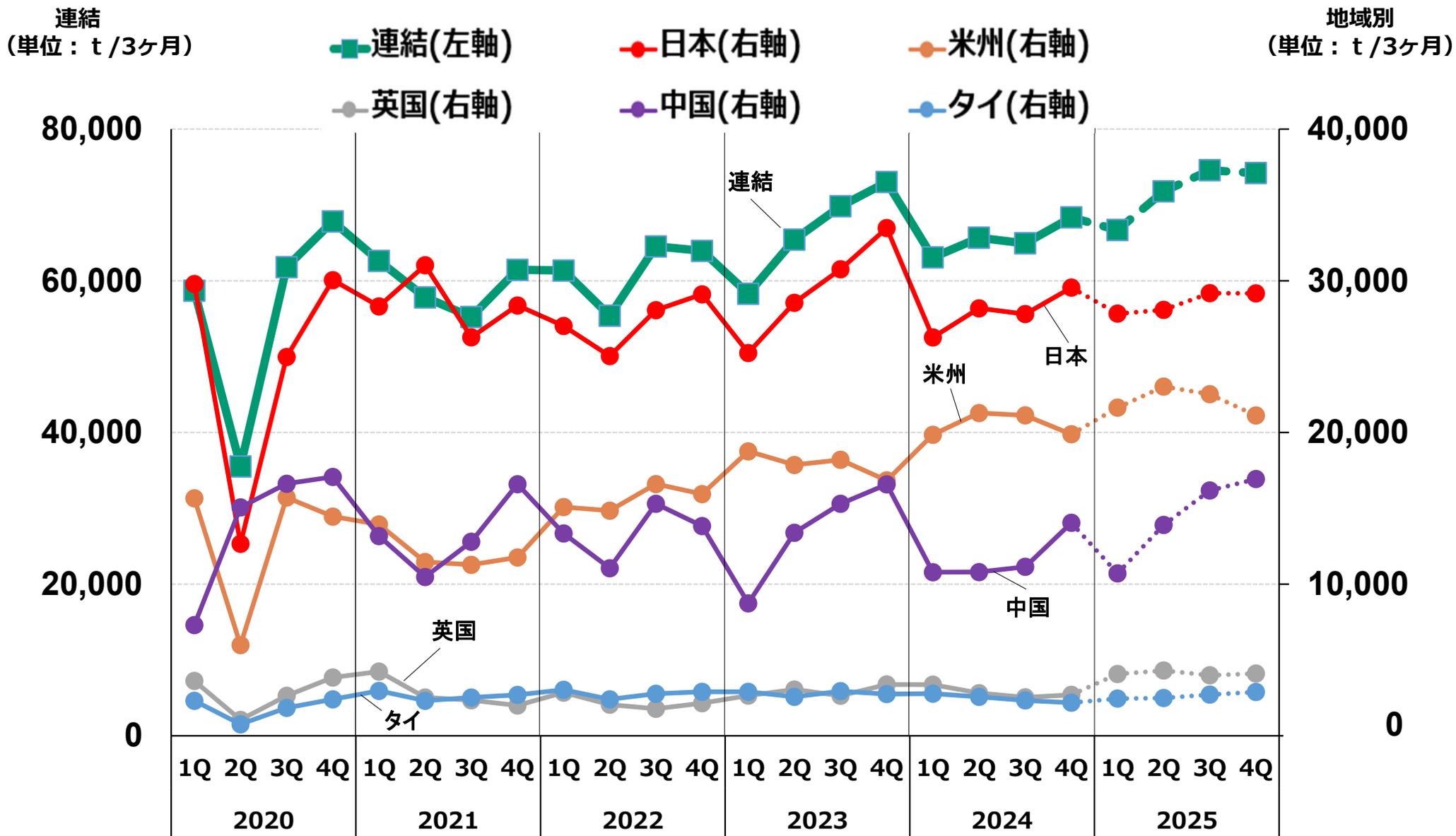
- ・ 投資CFは営業CFの範囲内であり、フリーCFは154億円の黒字
- ・ フリーCFを原資とし、借入金返済、配当支払い等に充当



2. 2025年12月期 業績予想

ダイカスト生産重量の推移

- 2024年12月期は年間262千t（連結）で前年比微減
- 2025年12月期は年間280千t（連結）超となり、過去最高を見込む



※実線部は実績、破線部は予想を示す

業績予想

- ・ ダイカストで新規品の立上げが進むことに伴い増収
- ・ 増収効果により増益

(単位：億円)

	2024/12期	2025/12期	
	実績	業績予想	前期差 (前期比)
売上高	2,933	3,050	117 (4.0%)
営業利益	95	117	22 (23.2%)
経常利益	116	120	4 (3.9%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	69	90	21 (29.8%)

セグメント別業績予想

ダイカスト：新規品の立上げなどで増収 増収効果により増益

住建機器：国内外とも売上はほぼ横ばい 中国製造子会社の業績が通年で寄与し、増益

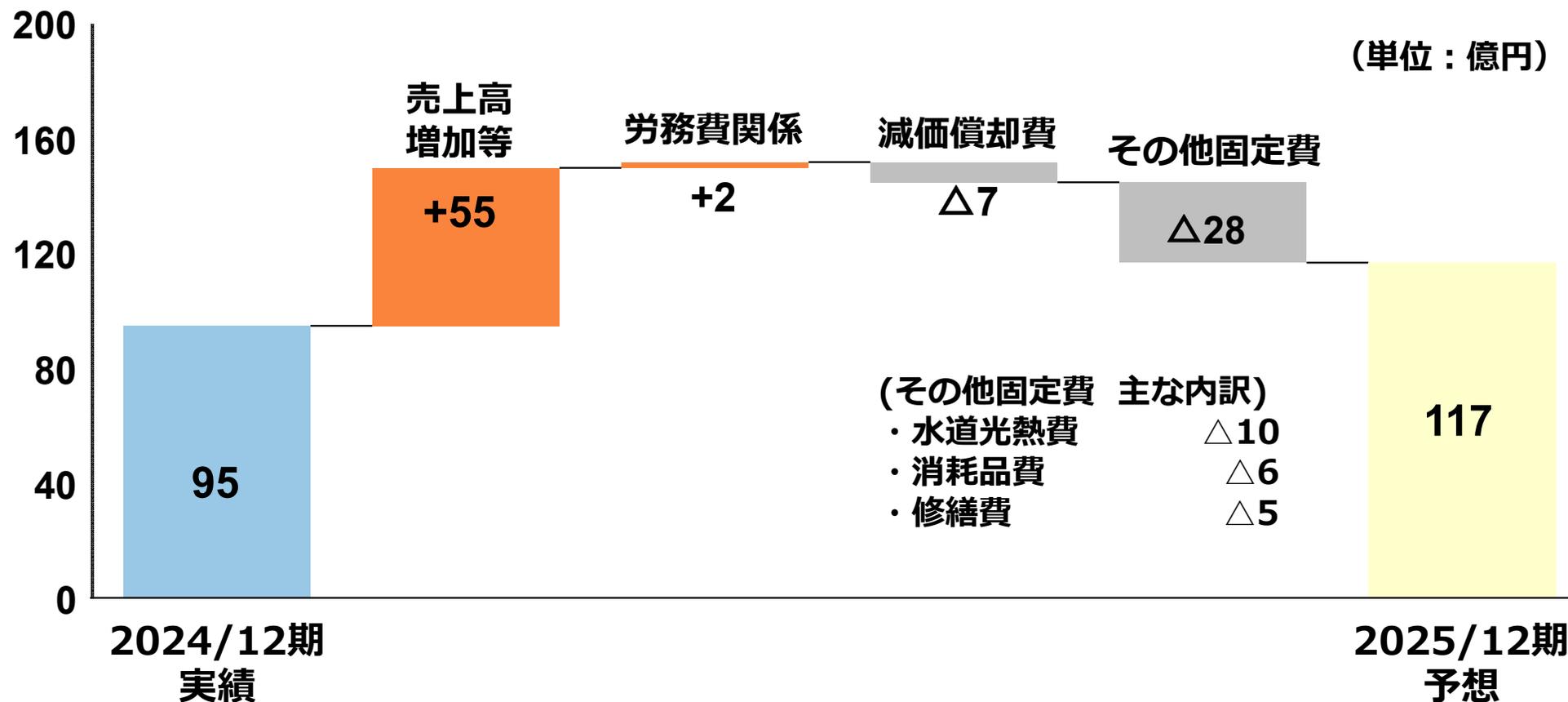
印刷機器：国内減収、海外増収 原材料価格高騰の影響などで減益

(単位：億円)

	2024/12期	2025/12期	
	実績	業績予想	前期差 (前期比)
売上高	2,933	3,050	117 (4.0%)
ダイカスト	2,579	2,700	121 (4.7%)
住建機器	110	110	△0 (△0.4%)
印刷機器	241	240	△1 (△0.5%)
営業利益	95	117	22 (23.2%)
ダイカスト	90	110	20 (22.3%)
住建機器	△4	2	6 (-)
印刷機器	9	5	△4 (△46.5%)

営業利益予想増減要因

- ・ 国内外で固定費が増加
- ・ 生産量増加に伴う準変動費の増加でその他固定費も増加
- ・ 増収効果や原価低減、生産性向上に取り組むことで増益



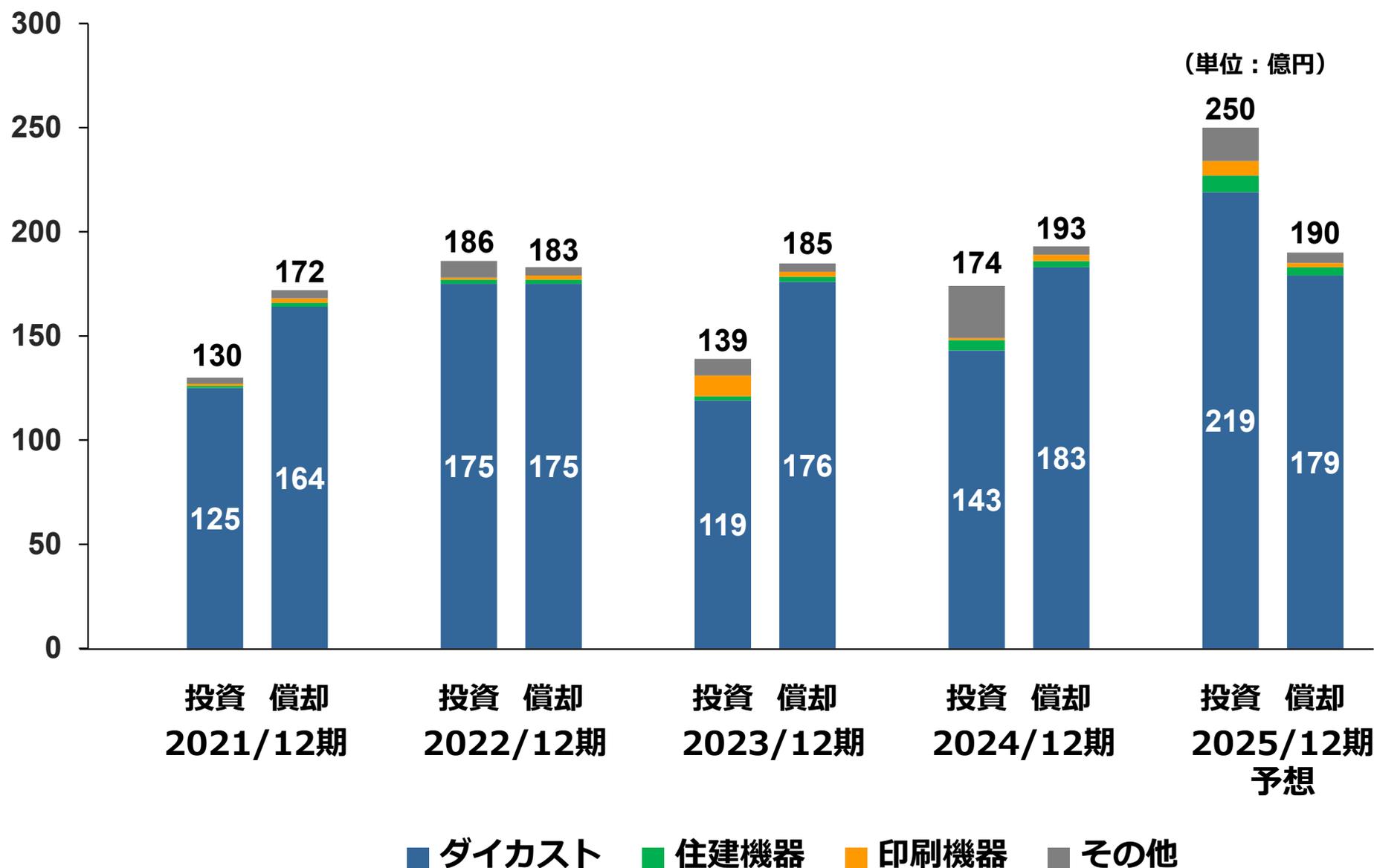
為替レート (期中平均)	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
2024/12期	150.89円	192.90円	20.97円	4.28円
2025/12期 (予想)	145円	180円	20.0円	4.0円

為替1%変動 (円高) 時の
年間営業利益への影響額

米ドル	△50百万円
英ポンド	△10百万円
中国元	△20百万円
タイバーツ	△10百万円

設備投資・減価償却費推移

- 2025年12月期予想 投資250億円、償却費190億円
- 国内（大型部品(ギガキャスト) 鋳造設備関連・新規品生産設備等）で投資額増

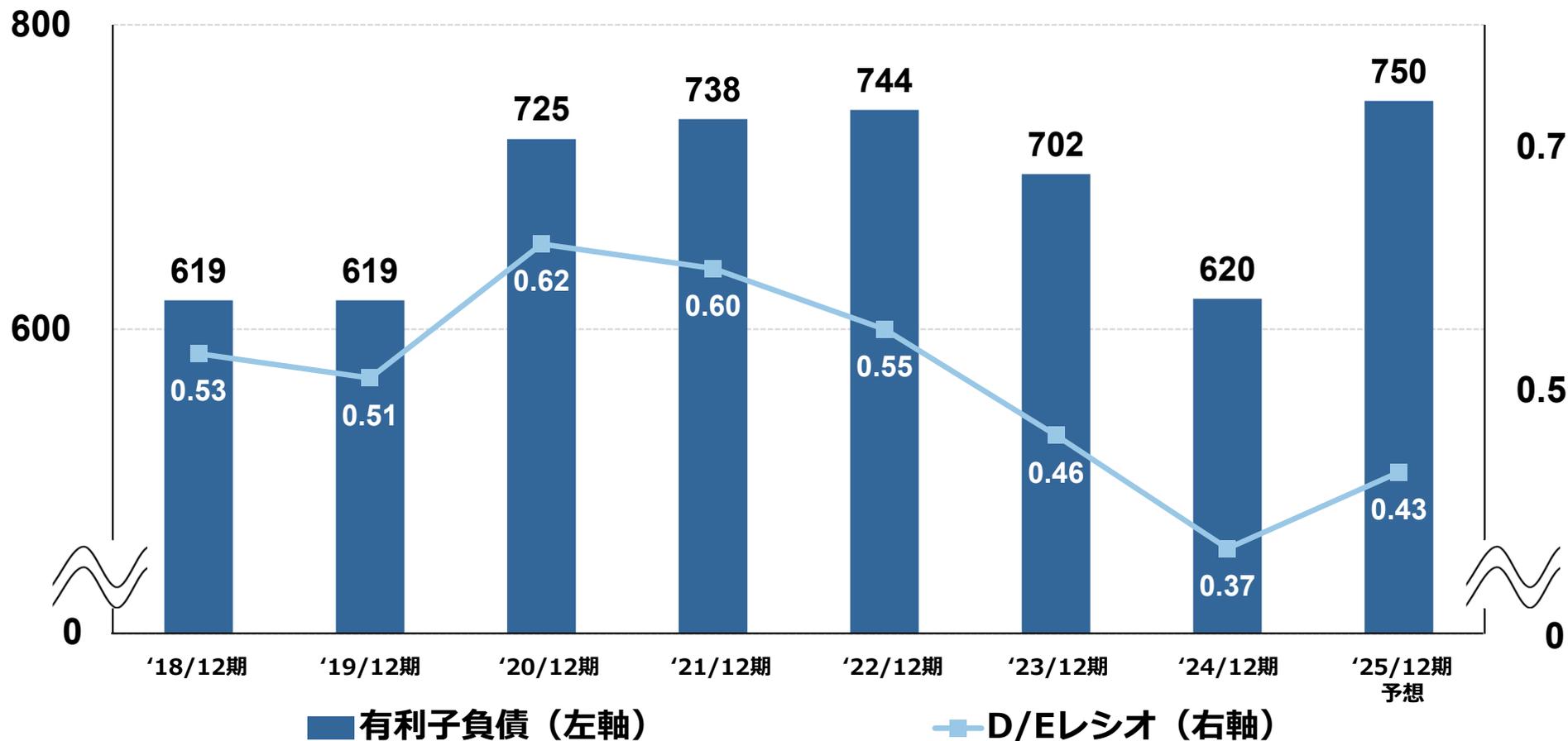


有利子負債・D/Eレシオ推移

- 2025年12月末の有利子負債残高は、750億円を予想
- D/Eレシオは0.5倍以下を維持見込

(単位：億円)

(単位：倍)



借入金依存度
(有利子負債/総資産)

	2018/12期	2019/12期	2020/12期	2021/12期	2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期 予想
借入金依存度 (有利子負債/総資産)	23.0%	23.5%	28.0%	26.4%	24.8%	22.0%	18.6%	22.1%

将来予測に関する注意事項

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは異なる可能性があります。

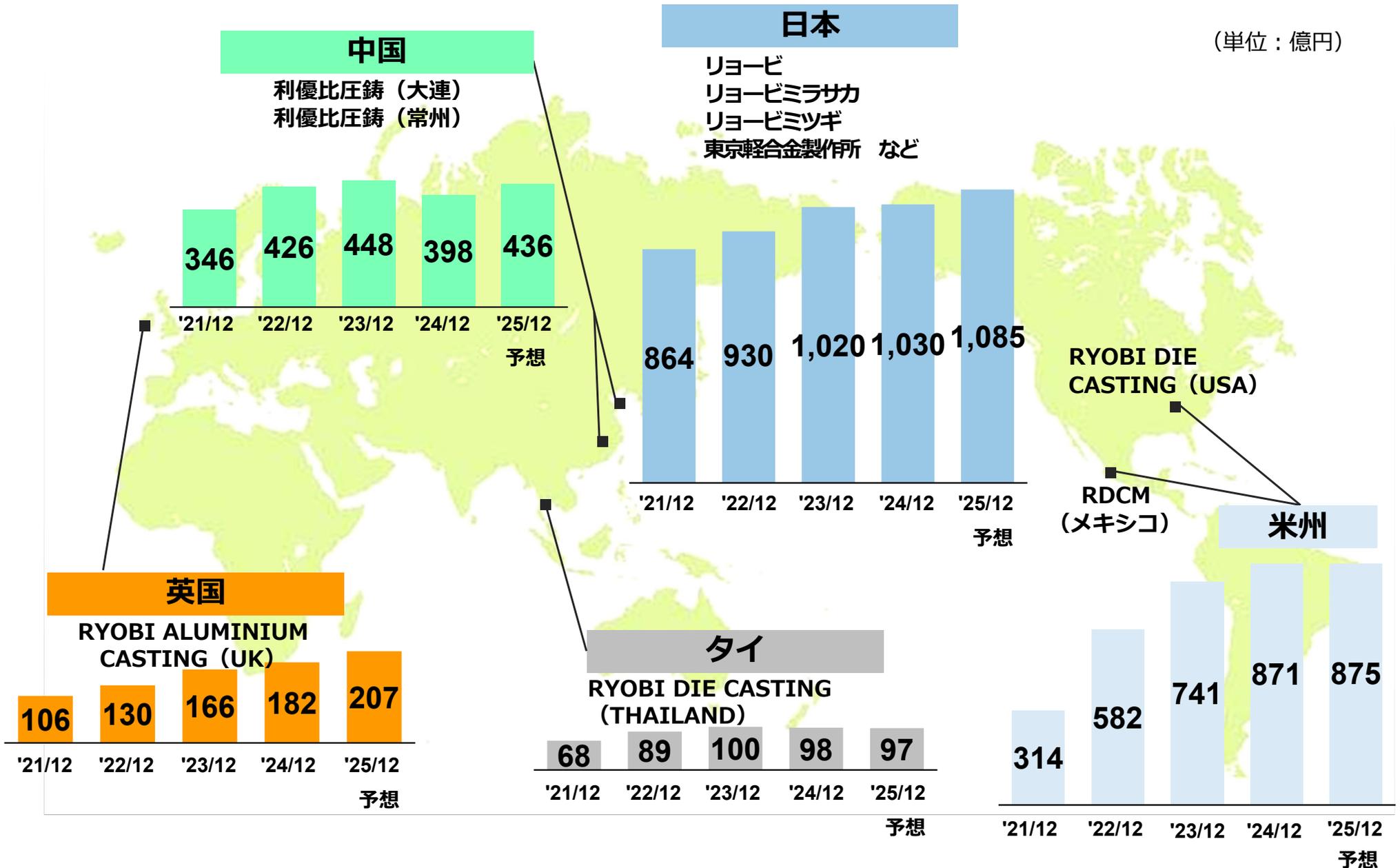
RYOBI

できたらいいなの、その先へ。

ダイカスト事業

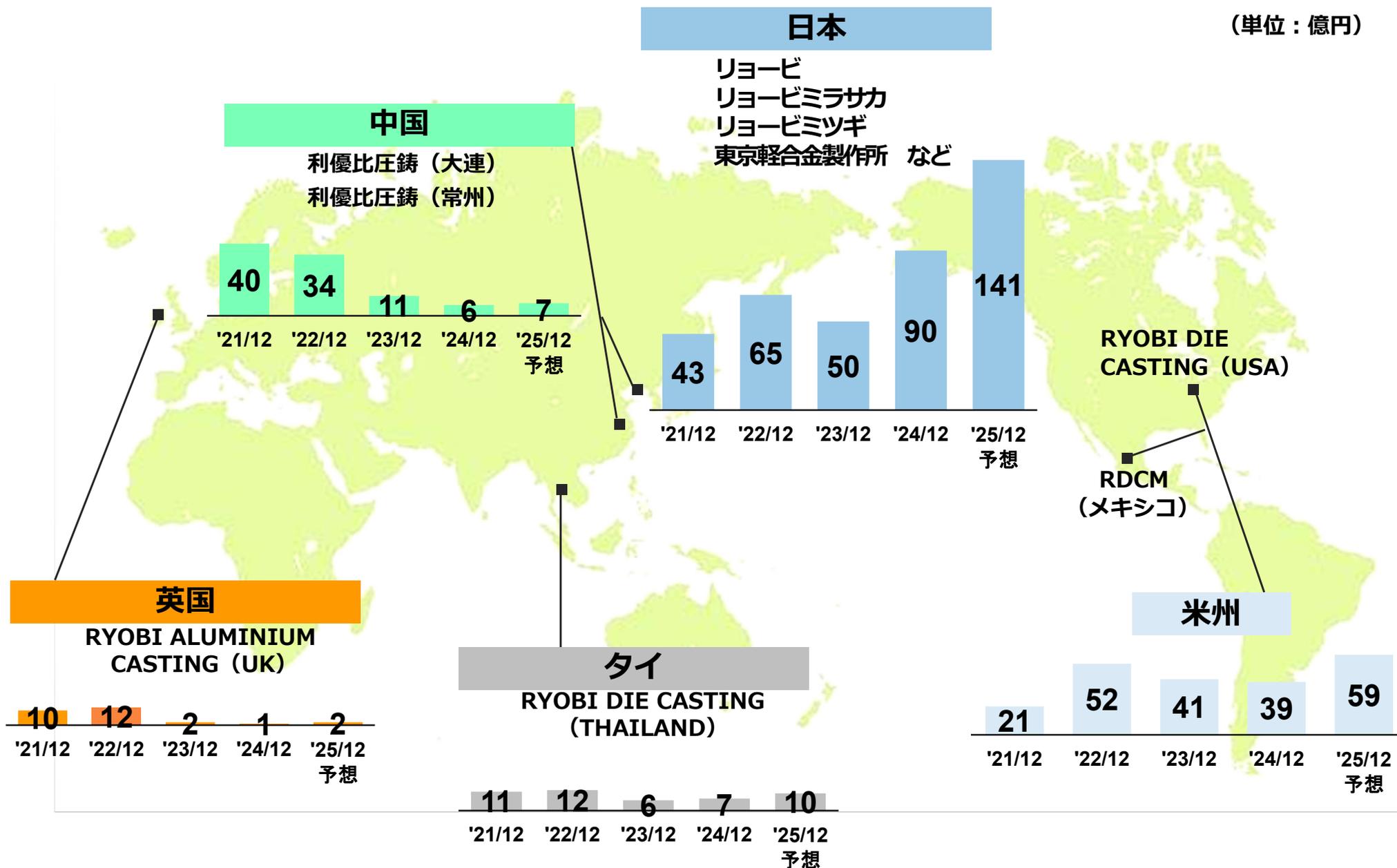
地域別売上高の推移

(単位：億円)



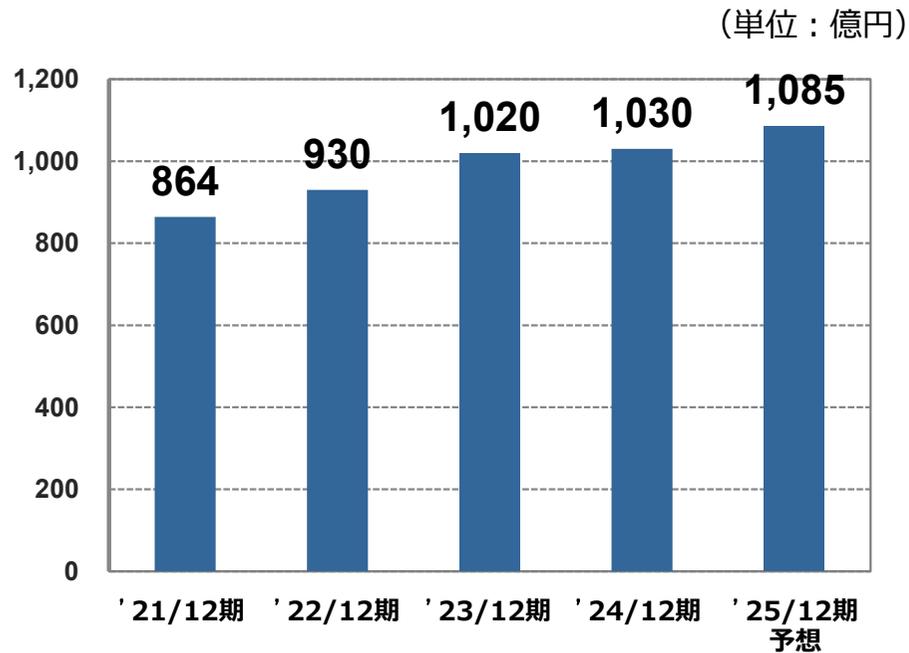
ダイカスト事業

地域別設備投資の推移



ダイカスト事業 -日本-

売上高推移



事業環境

- 自動車メーカーの品質問題等で自動車生産の回復スピード遅く、売上は伸び悩み
- BEV販売台数は諸外国に比べ普及に遅れ
- BEVの勢いは鈍化、HEV・PHEV生産が増加
- 軽量化ニーズの高まり(アルミダイカスト製品生産量増加)

主要な取組み

- 戦略製品への対応 (軽量化・電動化)
- 自動化・省人化技術の開発
- ギガキャスト技術の確立

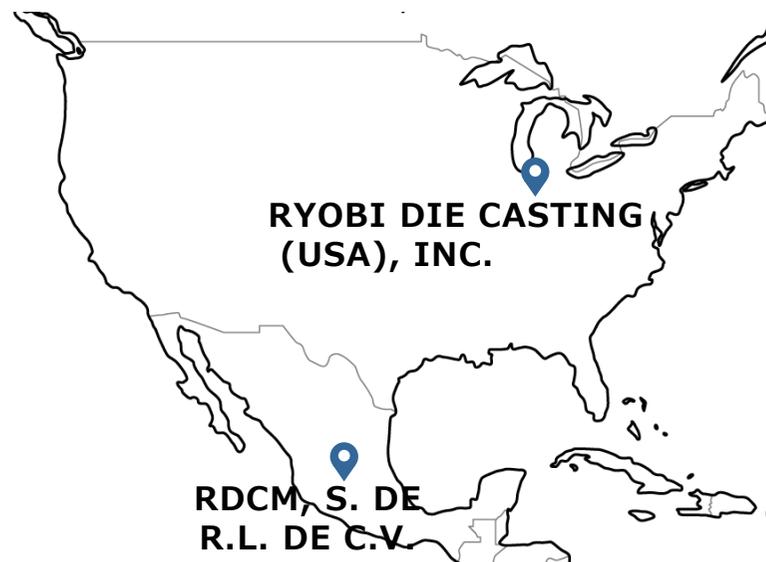
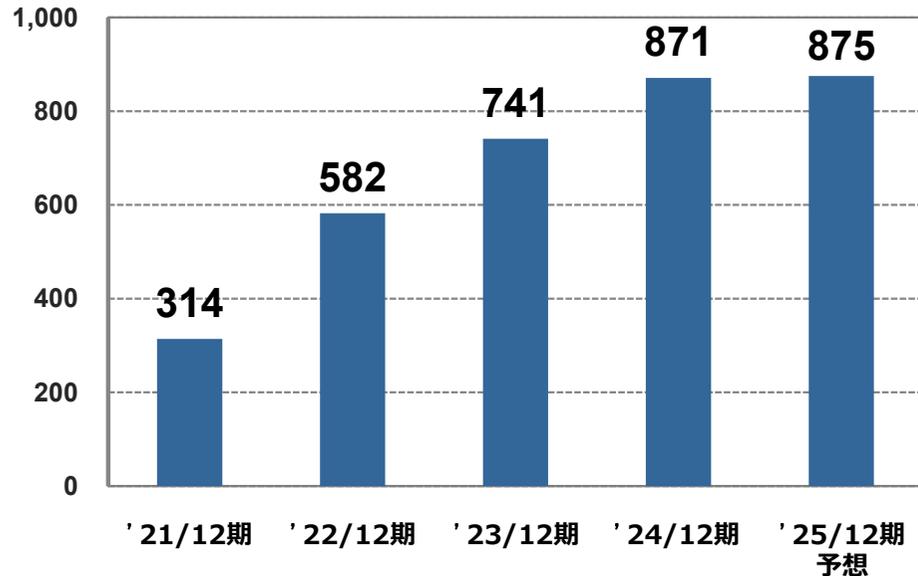


リョービ
広島東工場

ダイカスト事業 -米州-

売上高推移

(単位：億円)



事業環境

- BEV販売鈍化、HEVの存在感高まる
- 自動車ローン金利高止まり、新車価格上昇
- EV購入補助金廃止、カナダ・メキシコに輸入関税を課す動き
- 自動車メーカーのBEV投資縮小、延期

主要な取組み

- 売上拡大に向けた投資、シェア拡大
(投資タイミング、金額は慎重に見極め)
- 労務費等の上昇対応(自動化・生産性向上)



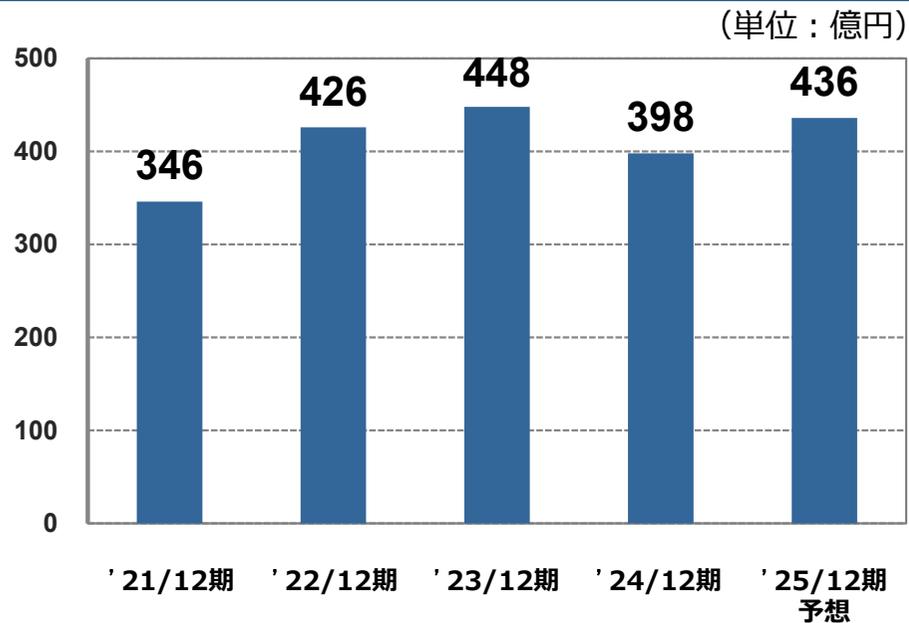
RYOBI DIE CASTING (USA), INC.



RDCM, S. DE R.L. DE C.V.

ダイカスト事業 -中国-

売上高推移



事業環境

- 新工ネ車の中でBEV→PHEVに勢い移る
- 買い替え支援補助金増額で新車需要持直し
- 中国国内価格競争激化、海外市場開拓
- 中資系自動車メーカーがシェア拡大、外資系メーカーはシェア縮小

主要な取組み

- 中資系顧客との関係構築と拡販
- 自動化・省力化の推進
- 設備投資は抑制



RYOBI DIE CASTING
DALIAN CO., LTD.



RYOBI DIE CASTING
CHANGZHOU CO., LTD.

ダイカスト事業 -英国・タイ-

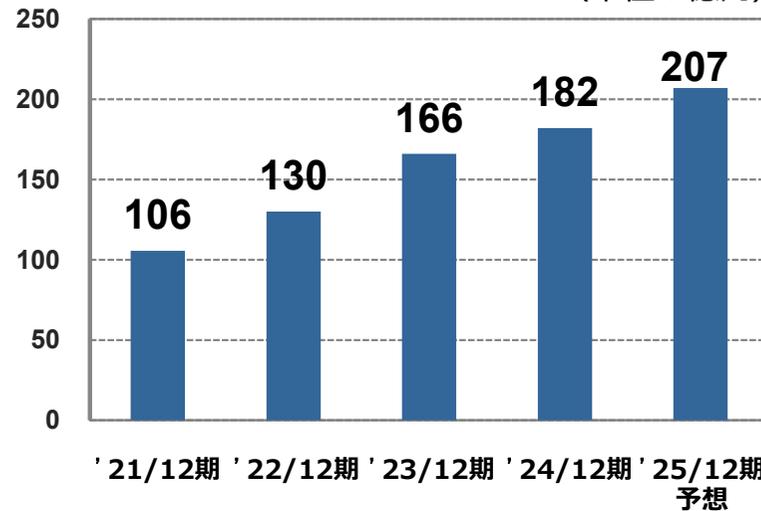
英国



RYOBI ALUMINIUM
CASTING (UK), LIMITED

売上高推移

(単位：億円)



事業環境

- 補助金削減でBEV販売失速
- 長期的には各国の環境規制からBEVシェア拡大、ICE減少

主要な取組み

- 生産性の向上(原価率低減)
- 製品加工ビジネスの縮小

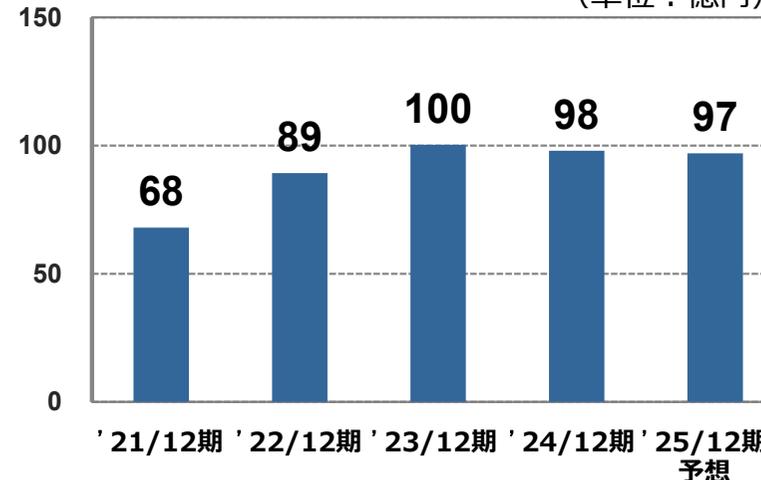
タイ



RYOBI DIE CASTING
(THAILAND) CO., LTD.

売上高推移

(単位：億円)



事業環境

- 自動車ローン審査の厳格化で自動車販売低迷
- 中資系EVメーカー進出、日系メーカーのシェア浸食

主要な取組み

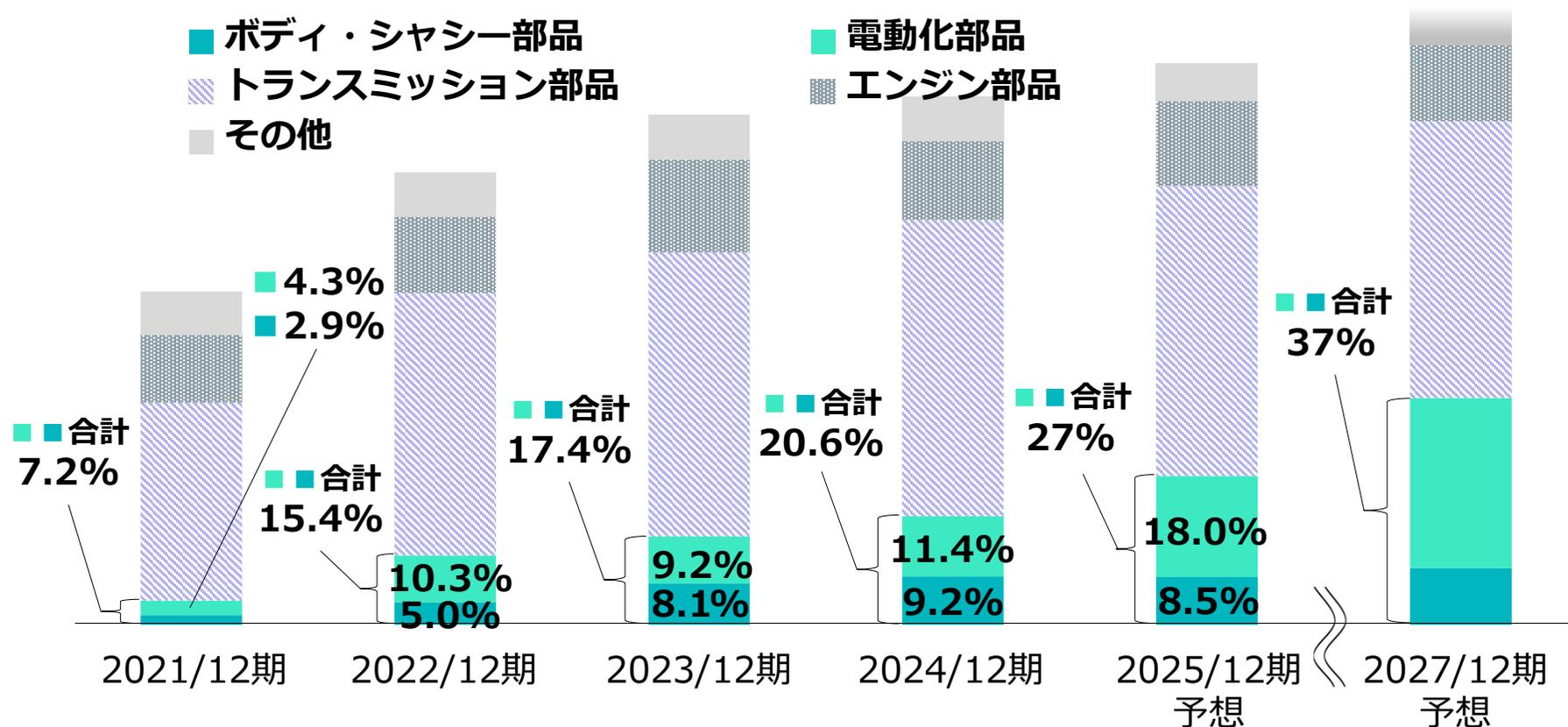
- タイ国内向けに加え、顧客を通じた海外輸出品の受注獲得
- 生産性の向上 (不良率改善)

ダイカスト事業

軽量化・電動化への取組み -戦略製品の売上高・構成比-

- 戦略製品(電動化部品、軽量化(ボディ・シャシー)部品)の売上は堅調に増加
- 戦略製品の売上高構成比は、2027年で37% (EV減速により前回予想比縮小)
- 新規受注(2025年見込)のうち約87%が電動化・ボディ・シャシー部品
(新規受注実績: 2021年55%、2022年77%、2023年85%、2024年83%)

部品カテゴリーごとの売上高・構成比



IR活動の状況（2024年1月～12月）

当社は、機関投資家・アナリストの皆様に向け、半期毎に説明会を開催しております。また、個別取材やミーティングに随時対応し、投資家の皆様との直接のコミュニケーション拡充を図り、建設的な対話を年間を通じて実施しております。これらの取組により、投資家の皆様から頂いた意見は経営陣に対し、定期的かつ適時に報告し、経営の改善に役立てることで持続的成長と中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

主な対応者

決算説明会	代表取締役社長、執行役員経営企画本部長、執行役員財務部長
投資家面談	執行役員財務部長、財務部副部長
工場見学会	広島工場長、研究開発部部長、グループ会社社長・工場長

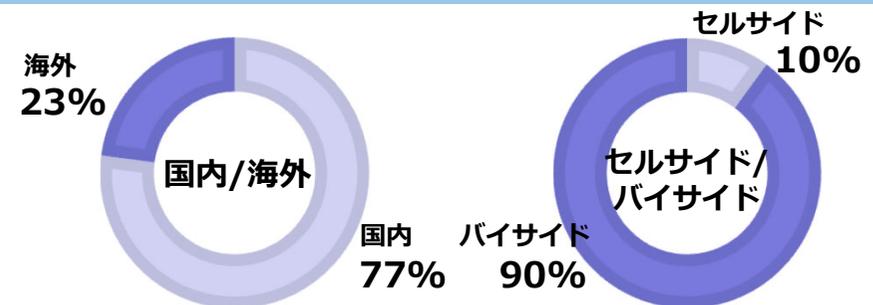
経営陣へのフィードバック

	頻度	内容
投資家・アナリストのコメント	半期ごと	個別面談等での投資家・アナリストのコメントを集約し、取締役会にて報告
アナリストレポート	都度	証券会社が発行するアナリストレポートをメールにて報告
株価情報	月次	市況、当社株価推移、出来高等の分析をメールにて報告

面談等の状況

- 決算説明会 2回
- 機関投資家/アナリストとの対話 109回 (延数)
- 工場見学会 1回

対話相手の属性



主なテーマや株主の関心事項

- ダイカスト事業における自動車生産の状況、地域別生産動向
- 自動車の電動化に向けた当社の戦略と取組み
- 自動車部品の大型化（ギガキャスト）に向けた動きと当社の戦略・取組み、進捗状況
- 中期経営計画開示とその方向性
- 今後の株主還元強化について
- 政策保有株式の縮減に対する考え方